

政策	61 農林業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	農林業者						
施策が目指す姿	農業生産基盤の充実、多様な担い手の育成・支援、特色ある農産物の生産・販売体制の強化などにより農業経営基盤の充実を図る 地域ブランドの育成、観光等との連携、体験型グリーンツーリズムの推進、安全・安心で新鮮な農産物の提供などにより特色ある農林業の展開を図る						
成果指標	認定農業者数（単位：人）...平成29年度目標値580人（現状値540人）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	480.00	550.00	560.00	570.00	580.00
		実績	466.00	571.00			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	1,652,739	1,505,372	0	0	0	
	実績	1,570,205	2,184,669			0	
内部評価	貢献度	基本方針の目指す姿は、農業を産業として成長させ振興することであり、本施策の農業担い手の育成は、その目標達成に大きく貢献するものである。					
	達成状況	本施策が掲げる認定農業者数は目標値を達成しており、下位単位施策についても目標の通り順調に推移しているものと判断する。					
	課題	高齢により離農を希望する農家が持つ農地の効率的な活用、さらに規模拡大を目指す担い手及び新規就農者に対し、販路拡大など魅力ある施策の展開が必要である。					
	取組方針	農地中間管理事業等の積極的な取組みによる農地集積率の向上、青年等新規就農者の確保、新たな農産物販売ルートの開発、農産物のブランド化を重点的に取組んでいく。					
外部評価	認定農業者数の目標に対する実績は順調に推移しており、市の取組みは評価できる。下位の単位施策の進捗も順調であるが、更なる農林業振興に向けて、新たな取組みが必要な段階に来ていると思われる。次期計画策定には新たな成果指標の設定も含めて施策の再編も検討されたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6101	農業経営基盤の充実				1,145,473	100
	6102	特色ある農林業の展開				1,039,196	100